

## 調査計画

### 1 調査の名称

社会保障・人口問題基本調査（世帯動態調査）

### 2 調査の目的

社会保障・人口問題基本調査は、わが国の社会保障及び人口問題に関する事項について調査し、社会保障及び人口問題に関する研究のための分析を行うとともに、厚生労働行政等における各種の施策に資する基礎資料を提供することを目的としている。

調査は、「人口移動調査」、「生活と支え合いに関する調査」、「全国家庭動向調査」、「世帯動態調査」、及び「出生動向基本調査」の5つの調査で構成され、5年のローテーションで実施されている。

このうち、「世帯動態調査」は特定の期間に発生する世帯の形成、拡大、解体、世帯規模や構造の変動、あるいは世帯員の世帯内地位（世帯主か否か、世帯主でない場合は世帯主との続柄）の変化といった「世帯動態」に関するデータを収集し、世帯数の将来推計のための基礎資料を得ることを目的とする。

### 3 調査対象の範囲

- (1) 地域的範囲 全国
- (2) 属性的範囲 世帯（及び世帯員）

### 4 報告を求める者

- (1) 数 15,000世帯（母集団の数 5,300万世帯）
- (2) 選定の方法（全数 無作為抽出 有意抽出）

2019年国民生活基礎調査世帯名簿を用いて、2019年国民生活基礎調査の調査地区から無作為に抽出した300調査地区内のすべての世帯の世帯主および世帯員を調査の客体とする。

なお、標本設計に関しては別添1「社会保障・人口問題基本調査（世帯動態調査）の標本設計について」のとおりである。

### 5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

- (1) 報告を求める事項（詳細は調査事項一覧を参照）
  - (ア) 世帯の属性と変化に関する事項
  - (イ) ライフコース・イベントと世帯内地位の変化
  - (ウ) 親の基本属性と居住関係
  - (エ) 子の基本属性と居住関係

(2) 基準となる期日又は期間

2019年7月1日

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査組織

厚生労働省（国立社会保障・人口問題研究所）—都道府県—（保健所を設置する市・特別区）  
—保健所—調査員—報告者

(2) 調査方法（調査員調査 郵送調査 オンライン調査 その他（ ））

調査員が調査票を配布し、世帯主の自計の後、調査員が調査票を密封した上で、回収を行う。又は、調査員が調査票を配布し、世帯主の自計の後、国立社会保障・人口問題研究所が、調査票を郵送により回収する自計調査の方法により行う。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期 5年

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

2019年6月中旬～7月中旬

8 集計事項

別添2「世帯動態調査 単純集計表」および別添3「世帯動態調査 集計表」による。

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表の方法

概要及び報告書（統計表等）をインターネット（国立社会保障・人口問題研究所ホームページ及びe-Stat）及び印刷物により公表する。

(2) 公表の期日

概要：2020年6月頃を予定

報告書：2021年3月頃を予定

10 使用する統計基準

本調査では集計結果の表章等において、日本標準職業分類の大分類を使用する。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 調査票情報の保存期間

(ア) 記入済調査票：5年

(イ) 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：常用

(2) 保存責任者

人口構造研究部長

## 社会保障・人口問題基本調査（世帯動態調査） の標本設計について

国立社会保障・人口問題研究所

本調査では、世帯動態すなわち世帯および世帯員の 5 年間の変化に関する情報を収集し、世帯数の将来推計のための基礎的データを得ることを主要な目的としている。特に近年には独居老人の問題、高齢夫婦のみの世帯における老老介護の問題等が深刻化しており、いかにして高齢者の世帯動態に関する精度の高い情報を得られるかが問われることになる。

一般に、調査に必要な標本数  $n$  は、許容できる誤差の範囲  $\varepsilon$  を所与として次の式で求められる。

$$n = \frac{N}{\left(\frac{\varepsilon}{k}\right)^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

ここで、 $N$  は母集団の大きさ、 $P$  は母比率（回答比率）、 $\varepsilon$  はその誤差、 $k$  は信頼度（結果の確からしさ）に対応する係数である。一般の社会調査では信頼度として 95% が用いられ、これに対応する  $k$  は 1.96 である。 $\varepsilon$  は  $P=0.5$  のとき最大となるので、最大の誤差を検討するため  $P=0.5$  とおく。また、許容できる誤差  $\varepsilon$  はできるだけ小さい方が望ましいが、ここでは統計学の慣例に従い 5% 未満を目指すこととする。

世帯推計のための世帯動態は、世帯員の男女別・5 歳階級別に集計する必要がある。表 1 は平成 27 年国勢調査における男女別・5 歳階級別の 65 歳以上一般世帯人員である。これらを  $N$  とし、 $\varepsilon=0.05$ 、 $P=0.5$  として上の式に当てはめれば、各々の性・5 歳階級別に必要な回答者数が推定できる。

表 1. 男女別・5 歳階級別、65 歳以上一般世帯人員（平成 27 年国勢調査）

|         | 一般世帯人員    |           | 分布     |        |
|---------|-----------|-----------|--------|--------|
|         | 男         | 女         | 男      | 女      |
| 65～69 歳 | 4,581,766 | 4,931,804 | 0.1456 | 0.1567 |
| 70～74 歳 | 3,504,949 | 4,038,135 | 0.1114 | 0.1283 |
| 75～79 歳 | 2,697,234 | 3,349,780 | 0.0857 | 0.1065 |
| 80～84 歳 | 1,881,580 | 2,689,398 | 0.0598 | 0.0855 |
| 85 歳以上  | 1,267,529 | 2,524,597 | 0.0403 | 0.0802 |

次に必要な回答者数を表1の分布で割り戻して必要な65歳以上一般世帯人員の総数を得る。さらに1世帯当たりの65歳以上人員の平均 $=31466772/53331797=0.59002$ を用いて、必要な回収世帯数を得る。最後に前回の第7回世帯動態調査の回収率73.7%で割り戻して、必要な配布世帯数を得ることになる。結果は表2のようになり、15,000世帯あればほぼ目標を達成できることがわかる。

表2. 誤差5%未満のために必要な配布世帯数

|        | 男      | 女     |
|--------|--------|-------|
| 65～69歳 | 4,471  | 4,154 |
| 70～74歳 | 5,845  | 5,073 |
| 75～79歳 | 7,595  | 6,116 |
| 80～84歳 | 10,886 | 7,617 |
| 85歳以上  | 16,159 | 8,114 |

以上より、実行可能性と、本研究所のこれまでの実地調査における調査地区数を考慮した結果、300調査地区（15,000世帯）を要求することとした。

世帯動態調査 単純集計表

別添2

| 番号             | 単純集計項目                                | 設問番号   |
|----------------|---------------------------------------|--------|
| 世帯単位で集計        |                                       |        |
| 1              | 住宅の所有形態                               | 問1(1)  |
| 2              | 住宅の部屋数                                | 問1(1)  |
| 3              | 5年前から現住所に住んでいるか                       | 問1(2)  |
| 4              | 5年前の居住都道府県                            | 問1(2)  |
| 5              | 5年前の住宅の所有形態                           | 問1(3)  |
| 6              | 5年前の住宅の部屋数                            | 問1(3)  |
| 7              | 世帯員総数                                 | 問2     |
| 8              | 18歳未満世帯員数                             | 問2     |
| 9              | 18歳以上世帯員数                             | 問2     |
| 10             | 5年前に世帯主か                              | 問14(1) |
| 11             | 前住世帯の種類:5年前に世帯主でなかった場合のみ              | 問14(2) |
| 12             | 前住世帯の世帯員数:5年前の世帯の種類が二人以上の世帯の場合のみ      | 問14(3) |
| 13             | 前住世帯の世帯主:5年前の世帯の種類が二人以上の世帯の場合のみ       | 問14(4) |
| 14             | 前世帯主の状態:5年前の世帯の種類が二人以上の世帯の場合のみ        | 問14(5) |
| 15             | 5年前に同居しており、現在同居していない人(転出者)の有無         | 問15    |
| 16             | 転出者の人数                                | 問15    |
| 17             | 転出者の続柄/合計                             | 問15    |
| 18             | 転出者の性別/合計                             | 問15    |
| 19             | 転出者の転出時の年齢(各歳)/合計                     | 問15    |
| 20             | 転出者の婚姻状態/合計                           | 問15    |
| 21             | 転出の理由/合計                              | 問15    |
| 22             | 転出者の現住都道府県                            | 問15    |
| 23             | 現在の居住都道府県                             | 調査員記入欄 |
| 24             | 現在の家族類型                               | 問4     |
| 18歳以上世帯人員単位で集計 |                                       |        |
| 25             | 住宅の所有形態                               | 問1(1)  |
| 26             | 住宅の部屋数                                | 問1(1)  |
| 27             | 世帯員総数                                 | 問2     |
| 28             | 18歳未満世帯員の有無                           | 問3     |
| 29             | 65歳以上世帯員の有無                           | 問3     |
| 30             | 現在の家族類型                               | 問4     |
| 31             | 性別                                    | 問3     |
| 32             | 世帯主との続柄                               | 問4     |
| 33             | きょうだいの数:兄                             | 問5     |
| 34             | きょうだいの数:弟                             | 問5     |
| 35             | きょうだいの数:姉                             | 問5     |
| 36             | きょうだいの数:妹                             | 問5     |
| 37             | きょうだいの数:合計                            | 問5     |
| 38             | 婚姻状態                                  | 問6     |
| 39             | 初婚・再婚の別:既婚の場合のみ                       | 問6-2   |
| 40             | 在学・卒業の別:18歳以上の場合のみ                    | 問7     |
| 41             | 教育施設:18歳以上の場合のみ                       | 問7-1   |
| 42             | 現在の就業状態:18歳以上の場合のみ                    | 問8     |
| 43             | 現在の職業:18歳以上の場合のみ                      | 問8     |
| 44             | 離家の有無:18歳以上の場合のみ                      | 問9     |
| 45             | 離家のきっかけ:離家経験ありの場合のみ                   | 問9-1   |
| 46             | 離家年齢:離家経験ありの場合のみ                      | 問9-2   |
| 47             | 親世帯へ戻ったかどうか:離家経験ありで、現在親と同居していない場合のみ   | 問9-3   |
| 48             | 5年前に現世帯主と同居していたか:非世帯主のみ               | 問10    |
| 49             | 同居のきっかけ:5年前に現世帯主と非同居の場合のみ             | 問10-1  |
| 50             | 5年前に住んでいた都道府県:5年前に現世帯主と非同居の場合のみ       | 問10-2  |
| 51             | 5年前に住んでいた世帯の種類:5年前に現世帯主と非同居の場合のみ      | 問10-3  |
| 52             | 5年前に住んでいた世帯の世帯員数:5年前の世帯が二人以上の場合のみ     | 問10-4  |
| 53             | 5年前に住んでいた世帯での続柄:5年前の世帯が二人以上の場合のみ      | 問10-5  |
| 54             | 5年前に住んでいた世帯での世帯の世帯員:5年前の世帯で世帯主だった場合のみ | 問10-6  |
| 55             | 健康状態:18歳以上の場合のみ                       | 問11    |
| 56             | 生存子の有無                                | 問12    |
| 57             | 生存子数(18歳未満・男):子どもがいる場合のみ              | 問12-1  |

世帯動態調査 単純集計表

別添2

| 番号 | 単純集計項目                          | 設問番号  |
|----|---------------------------------|-------|
| 58 | 生存子数(18歳未満・女):子どもがいる場合のみ        | 問12-1 |
| 59 | 生存子数(18歳以上・男):子どもがいる場合のみ        | 問12-1 |
| 60 | 生存子数(18歳以上・女):子どもがいる場合のみ        | 問12-1 |
| 61 | 生存子数(男):子どもがいる場合のみ              | 問12-1 |
| 62 | 生存子数(女):子どもがいる場合のみ              | 問12-1 |
| 63 | 生存子数(未婚・男):子どもがいる場合のみ           | 問12-2 |
| 64 | 生存子数(未婚・女):子どもがいる場合のみ           | 問12-2 |
| 65 | 生存子数(既婚・男):子どもがいる場合のみ           | 問12-2 |
| 66 | 生存子数(既婚・女):子どもがいる場合のみ           | 問12-2 |
| 67 | 別居している子供の有無:子どもがいる場合のみ          | 問12-3 |
| 68 | 最も近くに居住している子供の居住地:別居子がいる場合のみ    | 問12-4 |
| 69 | 最も近くに居住している子供の居住都道府県:別居子がいる場合のみ | 問12-4 |
| 70 | 父親の居住している世帯                     | 問13   |
| 71 | 母親の居住している世帯                     | 問13   |
| 72 | 現在の年齢(各歳)                       | 問3    |
| 73 | 出生年(5年階級)                       | 問3    |
| 74 | 結婚・離婚・死別年(5歳階級):既婚の場合のみ         | 問6-1  |
| 75 | 離家年齢(5歳階級):離家経験ありの場合のみ          | 問9-2  |

世帯動態調査 集計表

別添4

| 番号             | 集計項目                            | 設問番号   |
|----------------|---------------------------------|--------|
| 世帯単位で集計        |                                 |        |
| 1              | 世帯主の性別×世帯主の年齢(5歳階級)             | 問3     |
| 2              | 世帯主の性別×世帯主の出生年(5年階級)            | 問3     |
| 3              | 現在の世帯員総数×世帯主の年齢(5歳階級)×世帯主の性別    | 問2     |
| 4              | 18歳未満世帯員数×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別     | 問2     |
| 5              | 18歳以上世帯員数×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別     | 問2     |
| 6              | 男子世帯員数×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別        | 問3     |
| 7              | 女子世帯員数×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別        | 問3     |
| 8              | 性別不詳世帯員数×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別      | 問3     |
| 9              | 男子世帯員数×女子世帯員数                   | 問3     |
| 10             | 18歳未満世帯員の有無×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別   | 問3     |
| 11             | 65歳以上世帯員の有無×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別   | 問3     |
| 12             | 年齢不詳者の有無×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別      | 問3     |
| 13             | 現在の家族類型×世帯主の年齢(5歳階級)×世帯主性別      | 問4     |
| 14             | 5年前世帯主か×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別       | 問14(1) |
| 15             | 前世帯の種類×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別        | 問14(2) |
| 16             | 前住世帯員数×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別        | 問14(3) |
| 17             | 前住世帯の世帯主×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別      | 問14(4) |
| 18             | 前世帯主の状態×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別       | 問14(5) |
| 19             | 5年前の世帯員総数×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別     | 問14(3) |
| 20             | 5年前の家族類型×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別      | 問14(4) |
| 21             | 世帯主の経歴×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別        | 問14(5) |
| 22             | 現在の世帯員総数×世帯主の経歴                 | 問14(5) |
| 23             | 5年前の世帯員総数×世帯主の経歴                | 問14(5) |
| 24             | 現在の世帯員総数×5年前の世帯員総数×世帯主の経歴       | 問14(5) |
| 25             | 世帯主の経歴×現在の家族類型                  | 問14(5) |
| 26             | 世帯主の経歴×5年前の家族類型                 | 問14(5) |
| 27             | 現在の家族類型×5年前の家族類型×世帯主の経歴         | 問14(5) |
| 28             | 継続同居者数×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別        | 問14(3) |
| 29             | 転入者数×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別          | 問10    |
| 30             | 転出者の有無×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別        | 問15    |
| 31             | 転出者の人数×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別        | 問15    |
| 32             | 転出の理由×転出者の婚姻状態×転出者の性別           | 問15    |
| 33             | 住宅の所有形態×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別       | 問1(1)  |
| 34             | 5年前の居住地×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別       | 問1(2)  |
| 35             | 5年前の住宅の所有形態×世帯主年齢(5歳階級)×世帯主性別   | 問1(3)  |
| 18歳以上世帯人員単位で集計 |                                 |        |
| 1              | 性別×年齢(5歳階級)                     | 問3     |
| 2              | 性別×出生年(5年階級)                    | 問3     |
| 3              | 続柄×年齢(5歳階級)×性別                  | 問4     |
| 4              | 在学・卒業の別×年齢(5歳階級)×性別             | 問7     |
| 5              | 最終学歴×年齢(5歳階級)×性別                | 問7     |
| 6              | 就業状態×年齢(5歳階級)×性別                | 問8     |
| 7              | 職業×年齢(5歳階級)×性別                  | 問8     |
| 8              | 健康状態×年齢(5歳階級)×性別                | 問11    |
| 9              | 現在の世帯員総数×年齢(5歳階級)×性別            | 問2     |
| 10             | 現在の家族類型×年齢(5歳階級)×性別             | 問4     |
| 11             | 18歳未満世帯員の有無×年齢(5歳階級)            | 問3     |
| 12             | 65歳以上世帯員の有無×年齢(5歳階級)            | 問3     |
| 13             | 住宅の所有形態×年齢(5歳階級)×性別             | 問1     |
| 14             | 初再婚の別×婚姻状態×性別                   | 問6     |
| 15             | 婚姻状態×結婚・離婚・死別年(5年階級)×性別         | 問6     |
| 16             | 結婚・離婚・死別年(2区分)×年齢(5歳階級)×性別      | 問6-1   |
| 17             | 婚姻状態×結婚・離婚・死別年齢(5歳階級)×性別        | 問6-1   |
| 18             | 有配偶者の結婚後年数×年齢(5歳階級)×性別          | 問6-1   |
| 19             | 死別者の死別後年数×年齢(5歳階級)×性別           | 問6-1   |
| 20             | 離別者の離婚後年数×年齢(5歳階級)×性別           | 問6-1   |
| 21             | 年齢(5歳階級)×配偶者の年齢(5歳階級)           | 問3     |
| 22             | 離家の有無×年齢(5歳階級)×性別               | 問9     |
| 23             | 離家の有無×出生年(5年階級)×性別              | 問9     |
| 24             | 離家のきっかけ×出生年(5年階級)×性別            | 問9-1   |
| 25             | 離家年齢(5歳階級)×出生年(5年階級)×性別         | 問9-2   |
| 26             | 親の生存状態×年齢(5歳階級)×性別              | 問13    |
| 27             | 生存親数(配偶者の親を含む)×年齢(5歳階級)×性別      | 問13    |
| 28             | 親との同別居×年齢(5歳階級)×性別              | 問13    |
| 29             | 有配偶者の親との同別居×年齢(5歳階級)×性別         | 問13    |
| 30             | 配偶者の親との同別居×年齢(5歳階級)×性別          | 問4     |
| 31             | 有配偶者の親との同別居と自分の離家経験×年齢(5歳階級)×性別 | 問13    |
| 32             | 生存子数×年齢(5歳階級)×性別                | 問12    |
| 33             | 同居子数×年齢(5歳階級)×性別                | 問12-3  |

世帯動態調査 集計表

別添3

| 番号 | 集計項目                          | 設問番号  |
|----|-------------------------------|-------|
| 34 | 有配偶者の18歳以上の子との同別居×年齢(5歳階級)×性別 | 問12-3 |
| 35 | 死別者の18歳以上の子との同別居×年齢(5歳階級)×性別  | 問12-3 |
| 36 | 離別者の18歳以上の子との同別居×年齢(5歳階級)×性別  | 問12-3 |
| 37 | 18歳以上同居子の兄弟姉妹構成×年齢(5歳階級)×性別   | 問5    |
| 38 | 18歳以上同居子の婚姻状態×年齢(5歳階級)×性別     | 問6    |
| 39 | 最近居子の居住地×年齢(5歳階級)×性別          | 問12-4 |
| 40 | 子の離家段階×年齢(5歳階級)×性別            | 問12-3 |
| 41 | 生存兄弟姉妹数×年齢(5歳階級)×性別           | 問5    |
| 42 | 兄弟姉妹構成×年齢(5歳階級)               | 問5    |
| 43 | 婚姻状態×年齢(5歳階級)×性別              | 問6    |
| 44 | 婚姻状態×出生年(5年階級)×性別             | 問6    |
| 45 | 世帯主・非世帯主の経歴×年齢(5歳階級)×性別       | 問10   |
| 46 | 5年前の家族類型×世帯主・非世帯主の経歴          | 問10-6 |

| 複合変数名    | 定義  |
|----------|---|
| 妻の配偶関係   | 妻の配偶関係(問2(1))から作成される次の分類である。<br>有配偶<br>離別・死別  |
| 妻の年齢     | 妻の年齢(問3(1))から作成される次の分類である。<br>24歳以下<br>25～29歳<br>30～34歳<br>35～39歳<br>40～44歳<br>45～49歳<br>50～54歳<br>55～59歳<br>60～64歳<br>65～69歳<br>70～74歳<br>75歳以上                            |
| 居住地域区分   | 国勢調査区の情報から作成される次の分類である。<br>非人口集中地区<br>人口集中地区<br>10万人未満<br>10～20万人<br>20～50万人<br>50～100万人<br>100～200万人<br>200万人以上  |
| 末子年齢     | 問7(1)と問9(2)と問9(3)から作成される次の分類である。<br>子どもあり<br>子どもと非同居<br>子どもと同居<br>18歳以上の子どもと同居<br>12～17歳の子どもと同居<br>7～12歳の子どもと同居<br>4～6歳の子どもと同居<br>1～3歳の子どもと同居<br>1歳未満の子どもと同居<br>子どもなし<br>不詳 |
| 親との同別居   | 問11(4)と問12(3)から作成される次の分類である。<br>親と同居<br>夫の親と同居<br>妻の親と同居<br>両方の親と同居<br>夫の親と別居<br>最も近い親と敷地内別居<br>最も近い親と近居<br>いずれの親とも遠居<br>その他<br>不詳  |
| 妻の従業上の地位 | 問4(1)から作成される次の分類である。<br>常勤<br>パート<br>自営・家族従業者<br>その他<br>不詳  |

(調査事項一覧)

世帯の属性と変化に関する事項

- ・ 調査時の住宅の種類（持ち家、賃貸等）と部屋数
- ・ 5年前に調査時の住所・住宅に住んでいたか否か（調査時と異なる場合、5年前居住都道府県）
- ・ 5年前の住宅の種類（持ち家、賃貸等）と部屋数
- ・ 世帯員数（18歳以上か否かの別）
- ・ 調査時の世帯主は5年前も世帯主であったか否か、（世帯主でなかった場合）5年前世帯の種類（集团的施設か否か）、5年前世帯人員、5年前世帯主との続柄、世帯主になったときの前世帯主の状態
- ・ 転出者の有無・人数
- ・ 転出者（1～5人目）の続柄、男女・年齢、別居直前の結婚経験、転出の理由、転出者の現在の居住都道府県

世帯主及び世帯員の属性と変化、ライフコースイベントと世帯内地位の変化、親・子の属性と居住関係に関する事項

- ・ 世帯主・世帯員の男女の別、出生年月
- ・ 世帯主・世帯員の兄弟姉妹数
- ・ 世帯主・世帯員の配偶関係、最後の結婚・離死別年月、最後の婚姻の初再婚の別
- ・ 世帯主・世帯員の教育
- ・ 世帯主・世帯員の就業状態
- ・ 世帯主・世帯員の親と離れて暮らした経験の有無、離れた理由・年齢、親元への戻りの有無・年齢
- ・ 世帯主以外の世帯員が5年前に同居していたか否か、（同居していなかった場合）同居のきっかけ、5年前居住地、5年前の世帯の種類（集团的施設か否か）、5年前世帯人員、5年前の世帯主との続柄、5年前同居者（続柄）
- ・ 世帯主・世帯員の健康状態
- ・ 世帯主・世帯員の子の有無、男女別・18歳以上か否か別子の数、男女別・未婚か既婚か否かの別子の数、別居子の有無・最近子居住地
- ・ 世帯主・世帯員の父・母が生存か死亡の別、（生存の場合）居住地（同居、別居の都道府県）

以上